



Tokyo Rinkai West Rotary Club

東京臨海西 ロータリークラブ

第2580地区(東分区)



クラブ会長ターゲット

「ロータリアンとしての自覚」
"Awareness as a Rotarian"

2022-2023年度 東京臨海西ロータリークラブ会長

大星 太郎



国際ロータリーテーマ

「イマジン ロータリー」
"Imagine Rotary"

2022-2023年度 国際ロータリー会長

ジェニファー E. ジョーンズ

2023年5月19日[第120回]

創立：2018年11月22日

会長：大星 太郎

副会長：三橋 晶

幹事：継岩 憲二

会報担当：菅秀平/本島厚

6月2日の卓話

今年度第3回クラブ協議会
次年度第1回クラブ協議会

5月19日の出席率

| | |
|--------|--------|
| 会員在籍者数 | 43名 |
| 会員出席者数 | 37名 |
| 会員欠席者数 | 6名 |
| 本日の出席率 | 86.04% |

6月16日の卓話

「引きこもり児童の支援について」

江戸川区健全育成課
課長（確認）

〈2022-2023年度 例会 第119回例会報〉

2023年5月19日(金)東武ホテルレバント東京「吉野の間」

司会：本島会員

- 点鐘：東京臨海西RC 大星太郎 会長
- 国会斉唱
- ソングリーダー：岡田会員
- ロータリーソング「奉仕の理想」「四つのテスト」唱和
- 「ロータリーの目的」東京臨海西 RC バージョン

■来賓紹介：大星太郎会長

- 東京臨海西ロータリークラブ 特別代表
- 東京臨海ロータリークラブ 齊藤実様
- 東京臨海西ロータリークラブ 発起人代表
- 東京臨海ロータリークラブ 鈴木孝行様
- 今年度米山奨学生 雷 博強様

■卓話者紹介：大星太郎会長

- 地区青少年交換委員長 飯塚憲貴会員
- 第58期青少年交換派遣生 安藤舞花様

■ビジター紹介：雪丸会員・飯塚憲貴会員

- 東京中央新 RC 安原良昭様（大星会長ゲスト）
- (株)ease 代表取締役 遠藤晃治様（飯塚憲貴会員ゲスト）

■会長報告・スピーチ：大星太郎会長

- 紀尾井町 RC メークアップの報告

- ライハクキョウさんへ奨学金お渡し・一言

■幹事報告：継岩憲二幹事

- 親睦旅行に参加した方へ例会費・植樹費の請求書を送付します。レンタカー代と一緒にしなくてすみません
- 5月度定例理事役員会議事録をメール配信(5/18)しています 後方掲示板もご確認ください

■委員会報告

- 橋豊和次年度幹事より
東江戸川 RC メークアップの報告
- 国際奉仕委員会 ロータリー財団担当
米井会員より
ポリオプラス・ソサエティのご案内
- 三橋晶次年度会長より
8/6(日)江戸リバークリーンフェスタのご案内

■出席状況報告：本島厚会員

→詳細1頁バナー下の出席状況報告欄にて

■ニコニコBOX報告：坂東会員・島崎会員

(ご意向)いつも大星先生には大変お世話になっております。本日は会長のお姿を拝見することが出来嬉しいのでニコニコします：

安原良昭様（東京中央新 RC）

（ご意向）すいません。今日は仕事の都合で例会休み
ます。飯塚委員長頑張ってください：

齊藤実様（東京臨海 RC・当クラブ特別代表）

（ご意向）本日もよろしくお祈いします：鈴木孝行様
（東京臨海 RC・当クラブ発起人代表）

（ご意向）本日は入会式です！また新しい仲間が臨
海西ロータリークラブに入会してくれま
した！山崎さん、入会おめでとうございま
す！！：当クラブ三役

（ご意向）本日、会社名で紺綬褒章を頂きました：
栗山会員

（ご意向）みなさん、今日はまいかの卓話よろしくお
祈いいたします：飯塚憲貴会員

（ご意向）雷くん、通訳のボランティア活動頑張っ
てください：西野会員

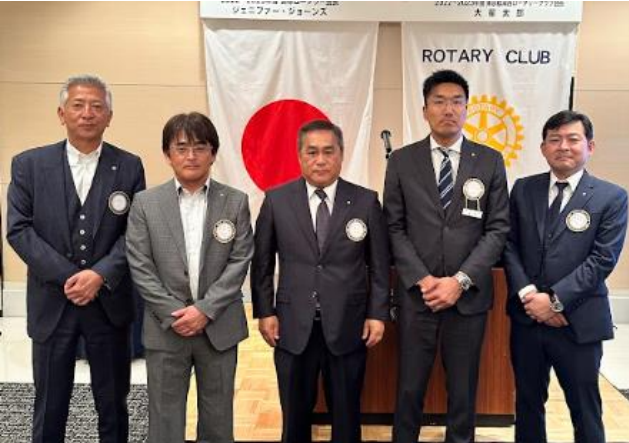
（ご意向）山崎くん入会おめでとうございませ
ん：油井会員

高橋会員、二瓶会員、岸会員、伊藤会員、佐藤会員
大西会員、武井会員、間野会員、本島会員
米井会員、北林会員、島崎会員、岡田会員
松原会員、飯塚正裕会員、清水会員、岩崎会員
平井会員、木津会員、雪丸会員

【30件 99,000円 今年度累計 2,263,000円】

■新会員入会式：大星太郎会長

新入会員：山崎和弘会員（食品配送・冷蔵輸送）



■本日の卓話

「ROTEX について」

●地区青少年交換委員長 飯塚憲貴会員

●第 58 期青少年交換派遣生 安藤舞花様

留学前の準備期間や現在のローテックス活動はほ
かの派遣学生と同じように行ってきたので、本日は
青少年交換プログラムとはローテックスとは、そし
て、活動報告の主に 3 つのセクションに分けてお話
させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお
祈いいたします。

まず青少年交換についてお話ししたいと思ひます。
ロータリーの青少年交換プログラムは、国際ロータ
リークラブのクラブ活動の礎である奉仕部門青少
年奉仕の 1 環として行われています。

世界中のロータリーの地区単位で高校生を 1 年間派
遣受け入れし合うプログラムで、現在では当地区を
含めた約 530 の地区がこのプログラムに参画して
おります。青少年交換プログラムの主な目的は、青少
年に海外交流の機会を与え、国際理解と親善の心を
育むこと。平和を推進すること。

そして、将来活躍するリーダーとして成長する機会
を青少年に与えること。プログラムに参加すること
です。青少年たちは小さな親善大使として世界に派
遣され、母国と派遣国の架け橋のような存在になれ
るように文化交流を行います。

青少年交換の目的は異文化交流であって、語学留学
ではありません。そのため、自分たちで行きたい国
を決めたり、希望を述べたりすることはできません。
年間の活動を通し、委員会が学生の適性や希望進路
を考慮し、滞在先を決定します。私は将来英語の先
生になりたいみたいなことずっと言っていて、アメ
リカに行きたいですみたいなことをそのスピーチ
とかで言ったりとか、私の同期はフィンランドへの
愛が熱い男の子がいて、その子は、僕はフィンラ
ンドがいいとずっと言っていたら、ロータリアンさん
もすぐ私たちのことを考えて派遣国を決定してく
ださいます。語学留学ではなくて、文化の交流を
目的としたプログラムになっております。

小さな親善大使として海外に出向き、異文化交流を
全うすべき役割があるため、派遣する派遣されると
いう言葉を使用します。青少年交換を行う組織形態
はこのようになっております。黄色い部分は学生と
の交流が多い組織です。

実際には青少年交換委員会が月に 1 回委員会を開き、
その場で学生の状況を共有したり、問題解決案を試
行錯誤したりします。つまり青少年交換委員会が学
生を取りまとめ、その地区における青少年交換プロ
グラムに付随するイベントを企画開催することにな
ります。2580 地区の青少年交換プログラムは派遣
学生が 8 名現在います。

その交換で、日本にきている海外学生が 8 名、来
年度に海外に派遣する日本人学生が沖縄 2 名を含む
11 人です。本年度交換が行われる国はアメリカ、カ
ナダ、フランス、ベルギー、フィンランドでこの 4
ヶ国 2 名ずつの交換となっております。例年では各
国 1 名の交換が主流ですが、本年度はコロナ騒動
以降にプログラムが再開した初めての年度であるた
め、各国の社会情勢と考慮した結果、2 名ずつの
交換となりました。

2580 地区は他の地区と比べても規模が小さいの
で、学生と委員会の距離が近く、アットホームな
雰囲気です。具体的なプログラム内容は海外に学
生を派遣以外の部分では地区によって異なるので
すが、2580 地区では 5 年間のプログラムになって
います。まず

試験に受かった学生は1年間派遣予定学生として活動します。

これはいわば海外に派遣されるための準備期間です。海外から日本に派遣されている学生、つまり来日学生インバウンドとともに青少年交換委員会の活動に参加します。2年目によろやく派遣国に留学し、1年間を過ごします。

つまり現在、私たちが受け入れている来日学生はプログラム2年目の学生ということになります。そして帰国後は今の私のようにローテックスとして学生をサポートしていくことになります。1年目の学生はアウトバウンドと呼び、来日生とともに地区青少年委員会の行事に参加します。



こちらについての詳しい内容は、活動報告の際に紹介いたします。準備期間で学生たちは各スポンサークラブで毎月行われる例会と学生会館のオリエンテーションに参加します。例会にはロータリアンの方々の前で毎回3分ほど英語もしくは日本語でスピーチをする時間をいただいていた。

先ほど申し上げたように、私は東京東ロータリークラブさんにスポンサーしていただいていたので、このように例会に参加してスピーチをする時間をいただいていた。オリエンテーションはロータリアンさん、ローテックス、派遣予定学生と留学生によって行われます。自己紹介や国の紹介など毎月のスピーチのテーマが決められて、英語か日本語、派遣国発表後はその国の言葉でスピーチすることもありました。

私はアメリカのミシガン州に行く予定だったので、最後まで英語のスピーチをしていたのですが、他の国フランスとかドイツとか、英語圏でない国に派遣される予定の学生たちは、その国の言葉で話していて、すごく刺激になりました。またイマズは日本語でスピーチをするんですが、どんだんの日本語が上手になっていくの生で見るいい機会となって、私も留学に行ったらこんなふうに話せるのかなと期待が膨らみました。結果留学に行くとはできませんでしたが、例会とオリエンテーションで月2回人前で話す機会をいただけたことによって、抵抗がなくなって今もここに立てているのだと思います。ありがとうございます。学生は2年目には小さな親善大使として海外に派遣されます。

現地では学校に通いながら受入先のロータリークラブ、つまりホストクラブを訪問したり、世界中から集まった海外の交換留学生と交流したりしますが、その活動内容や頻度は国や地域ごとによって大きく異なります。ロータリークラブのほかにも学校や地域コミュニティなどで、日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動として日本と派遣国の架け橋のような存在になれるように努力していきます。そして帰国してから3年間、つまりプログラムの3から5年目にはローテックスとして活動します。

ローテックスについてお話しします。ローテックスはロータリー青少年交換プログラムで、海外に1年間滞在した先輩、そして学生に1番近い存在として学生に対するアプローチを行う立場にあります。簡単に申し上げますと、この青少年交換プログラムの現場運営を担当させていただいています。

具体的には日本に滞在している来日学生のサポート。プログラム1年目である派遣予定学生の留学準備のサポート、青少年交換事業の目的である、異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート等を行います。また、この青少年交換プログラムについて広く知っていただくために、クラブ訪問やインターアクト、ローターアクトとの交流も行っております。ローテックスはプログラム3から5年目の学生のことを指しますが、帰国直後の3年目、または4年目は受験勉強等もあるので、多くの学生は大学受験終了後に本格的にローテックス活動に参加し、プログラムに献身しています。先ほど触れたローテックスの活動内容については以下の通りです。

年々このような行事を主に企画運営しております。例えばサマーキャンプやジャパントアアのアクティビティ活動や、訪れる地域フィールドトリップと呼んでいる遠足の内容や頻度は年度によって変わります。しかし、毎年来日生と派遣予定学生が日本文化を学び異なる価値観に対しての理解を深め、コミュニケーション取れるような場を作ろうと努めております。

続いて、活動報告に入らせていただきます。新型コロナウイルスの影響で中止されていたこの青少年交換プログラムですが、2022年に入り、約2年ぶりに再開しました。これまでの先輩方が積み上げてきたものを守りながら、このロータリーの青少年交換という素晴らしいプログラムがさらなる発展出来るように試行錯誤しています。

8月にはサマーキャンプを行いました。来日学生の日本語強化研修を目的としているものです。サマーキャンプを所沢で行いました。

コロンビアインターナショナルスクールとその寮をお借りして、10日間に渡って行いました。先生を招き、来日学生はひらがなとカタカナのマスターを目標にしながら、基礎会話を学びます。授業時間外では回転寿司に行ったり、川越に行ったり、日本の

ポップカルチャーや伝統に触れる機会を作りました。

こちらはそれぞれの名前に漢字を当てて、日本風の名前を習字で書く体験をしているところです。1 番奥ですね。

最終日には日本語で自国についてプレゼンをしてもらいました。サマーキャンプでは来日学生に対して 2580 地区の青少年交換プログラムや、日本で過ごす上で必要なマナーを講義しました。アウトバウンズはガバナー向けの提出資料アプリケーションフォームというのですが、こちらの作成をサポートしました。

アプリケーションホームはガバナーに提出するほか、自分の派遣先の地区に提出されるもので、自分のプロフィールが全て記載されているものになります。この書類の中にスチューデントレターとピアレンズレターというものがあり、未来のホストファミリーに向けた紹介の手紙を書く項目があります。スチューデントレターは私たちが書くもので、ピアレンズレターは私のお父様とか。お母様が書いてくれるものです。

それをホストファミリーに向けて書くサポートしました。ローテックスはこの 2 つのお手紙の英語バージョンのチェックも行いました。

さらにアウトバウンズに対してはロータリーの説明、ロータリアンとの関わり方、青少年交換プログラムの意義について学んでもらいました。また、来日生とアウトバンドはこれからも 1 年間を共に過ごしていく中で、そのアイスブレイクの企画として運動会やバーベキューも行い交流の場を設けました。9 月には米山委員会の方からお声がけいただき、2580 地区と静岡山梨の 2620 地区の合同研修に参加させていただきました。

静岡県の三島まで出向き、日本三大清流の柿田川の清掃を行いました。こちらは清掃の時の様子です。その後は米山梅吉記念館を訪れお墓参りもさせていただきました。

今後もこのような青少年交換プログラムの枠を超えた活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。茶道の稽古は年間を通して行われます。牛込柳町にある今日庵という場所でお稽古させていただいているのですが、ここは茶道の先生を育てる場所で、一般の人は決して入ることのできない有名な場所です。

ここで学生たちは日本の伝統的なおもてなしを学び、年度末には 1 通りのお手前ができるようになります。帰国後に家族や友人にお手前を披露するインバウンズや派遣後に現地で茶道を披露するアウトバウンズが毎年あります。ローテックスはレッスンの日程を講師の方と相談したり、当日の引率、レッスンの手伝いをしたりします。今日庵の茶道のお稽古は 2580 地区の特有の活動で、何年も前からロータリアンさんや今日庵の方のご厚意で続けさせていただきます。そのため、先生方にご迷惑がか

からないよう、毎年同じシステムで運営できるように引き継ぎ等をしっかり行えるように心がけています。フィールドトリップと言われる遠足を 2 ヶ月に 1 回実施しております。

日付から 1 日の行程まで全てローテックスが企画し引率します。こちらは 10 月に鎌倉で 1 日かけてフィールドトリップを行った時の様子です。日本の伝統的な建造物をめぐるが、学生同士で異文化の交流を促進するためにグループに分けて行動させるなど工夫をしました。

12 月には東京のもう 1 つの地区である 2750 地区と合同でクリスマスパーティーを実施しました。それぞれ出し物を用意して発表してもらい、地区を超えた交流の機会を設けました。2580 地区は毎年来日生は歌、派遣予定学生はダンスを披露しています。

2750 地区は毎回ソーラン節を披露して会を盛り上げてくれます。ローテックスは今回クイズの出し物を用意して、来日学生に向けた日本語のクイズ、派遣予定学生に向けて、ローテックスが派遣中に経験したことをクイズをして楽しみました。2 月には国会議事堂見学と防災センターを訪れ、地震体験を行いました。

国会議事堂は議員のインターンをされているローテックスの OB の方に声をかけていただき、見学させていただきました。来日学生もアウトバウンズも興味深々で案内の方にたくさん質問していました。防災センターでの地震体験も行い、マグニチュード 7 の地震のシミュレーションを行いました。

その後、防災をテーマにディスカッションを行い学んだことを発表し合った後、もし明日東京で地震が起きたらをテーマに議論してもらいました。さらに日本では特に学校で地震に対する避難訓練がたびたび行われていますが、来日学生の母国では訓練あるのか、またどんな訓練があるのかなどについても話し合ってもらいました。今後はオリエンテーションや茶道を継続しながら数回のフィールドトリップを行う予定です。

また 3 月末から 4 月にかけてジャパンツアーを行いました。8 泊 9 日かけて西日本をバスを貸し切ってまいります。

初日に奈良までバスできました。その後京都、鳥取砂丘、出雲、広島、岡山、香川、兵庫、大阪、名古屋などを訪れました。お寺に宿泊し、お坊さんの朝のルーティンである本業を体験したり、広島で地区のインターアクトの高校生たちを交えて平和学習を行ったり、楽しみだけではない学びある 9 日間になるように努めました。

また、出雲ロータリーの方に山梨大社を案内していただいたり、最終日には河口湖を訪れ、山梨静岡地域の 2620 地区の青少年交換と交流を行ったりするなど、地区の垣根を越えたジャパンツアーになりました。サマーキャンプは毎年同じ場所で行われますが、ジャパンツアーは毎日のスケジュールや宿や食事場所の予約、予算の管理、バスや保険の手配、駐

車場の手配全てのことをローテックスが指揮を取り、計画引率を行います。

バスの中でも次の訪問先を確認し、電話をかけたり、毎晩その日の反省点を振り返り、次の日の動きを確認するミーティングを行ったりしました。私はその予定学生の時にジャパンツアーに行けなかったのが、ジャパンツアーがこんなものなんだ。楽しいなと思うと同時にローテックスの大変さを知り、これからは頑張っていきたいなと気持ちになりました。ジャパンツアーの時の写真です。

左下が平和についてのディスカッション行った時の写真です。右下綺麗な秩父ヶ浜っていう所に行って、すごく美しい夕日を見ました。活動報告は以上になります。

こういった行事ができていけるのも、全てのロータリアンさんのご支援があってこそなのだかと再確認すると同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。最後に、私たちはオリジナルグッズを販売していて、オリジナルグッズの売り上げはローテックス費に回させていただいておりますので、地区大会や青少年交換、青少年交換関係の懇親会や交流会で販売しておりますので、どうぞお買い求めいただければと思います。本日もポロシャツがあるので、もしよろしければよろしく願いいたします。留学には行けなかったものの準備期間やローテックス活動で本当にたくさんの貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。

その恩義に報いるために、ローテックスの仕事を一生懸命頑張ります。本日は以上になります。ご清聴いただき、誠にありがとうございました。



■点鐘:東京臨海西RC 大星太郎会長

■江戸川区長を表敬訪問 退任のご挨拶と五周年記念祝賀会のお礼

